

かわむらこどもクリニックNEWS

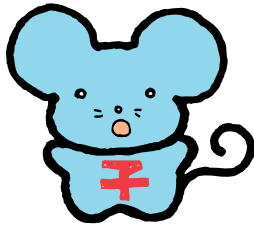
Volume 16 No 1

174号

平成20年 1月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

あけまして
おめでとう
ございます



今年もよろしくお祈りします

院長・スタッフ一同

新しい年に向けて-2008-

院長

毎年恒例ですが、新しい年に向けてと題して昨年を振り返ってみます。

毎年のように悲惨な事件や事故に遭遇しますが、子どもたちにとっての大きな問題は虐待です。12月に日本子ども虐待防止学会に参加したこともあり、いままで以上に虐待を考えた年になりました。10月にはテレビでお馴染みの杏林大学の法医学佐藤教授をお招きして、自分が立ち上げた仙台外来小児科懇話会で講演を頂きました。“子ども虐待だけが問題ではなく、DVも高齢者虐待も、全て根っこは同じ。個人的な対応ではなくて組織としての対応が必要”という言葉が印象に残りました。この虐待に関しては、ほんの一部ですがNWES(12月号)でも取上げています。昨年も書きましたが、子殺し、親殺しが堪えません。本来子どもを守る立場の親が子どもを殺し、子どもが敬うべき立場の親を殺す、なんと悲惨な出来事なのでしょう。

興味の程はわかりませんが、昨年のノーベル平和賞は地球温暖化に警鐘を鳴らす映画「不都合な真実」を製作し温暖化問題に取り組んできたゴア前米副大統領他が受賞しました。地球温暖化は、急速な勢いで進んでいます。11月に東北大学理学研究科の青木教授の講演会「南極からみた地球環境問題」を聞きました。南極この氷から過去の大気中の二酸化炭素(CO2)を測定する研究によると、過去数万年のCO2の増加の変化と、最近100年間の変化が同じであるということです。またこの先、CO2の増加は加速され、地球温暖化は益々悪化していくという内容でした。様々な自然災害の原因として温室効果ガスの影響が考えられているだけでなく、海面上昇によりツバルが沈んでしまう恐れがあると言われています。エコについて考えてみましょう。

もうひとつ大きな話題は、食品偽装です。年明けには洋菓子不二家の消費期限切れ原料使用。その後北海道「ミ-

トホープ」の原材料偽装、代表的土産「白い恋人」の賞味期限改ざん。さらに伊勢名物の「赤福」、秋田の比内地鶏、大阪の「船場吉兆」など各地で賞味期限改ざんや原材料偽装など、「食」の信頼・安全が大きく揺らぎました。食品は必ず体に入るものです。行政による管理・指導は重要ですが、製造者・販売者の意識がより大切なことは言うまでもありません。

新年早々悪い話ばかりで申し訳ありません。共同通信社による2007年10大ニュースには、明るいニュースはひとつも入ってはいませんでした。小さいニュースではあるのですが、ちょっと淋しい気がします。

続いて、当院での話題に少し目を向けてみましょう。今年例年になく、学会等の出張が多い年でした。1、2月には東京で3回の研究会・役員会、4月には熊本で日本外来小児科学会春季カンファレンスと京都で日本小児科学会。勉強とは関係ありませんが、5月の連休はダイビングでパラオ。興奮のあまり2回もエア切れになっちゃいました(ダイビングする人はわかりますよね)。そして役員会で再び熊本へ。7月には実習指導者研修会で大阪へ。8月には日本外来小児科学会でまたまた熊本へ。10、11月には研究会と役員会で東京へ。12月には日本子ども虐待防止学会で津(三重県)へ。出張以外にも様々ことが盛りだくさん。4月にはNHK「生活ほっとモーニング」で、全国放送デビューし10分間にわたり紹介されました。実を言うと初めての全国デビューではありません。1998年に「発掘あるある大事典」で“インターネットが命を救う”というテーマで紹介されたことがありました。その後の番組の不祥事のため紹介を遠慮していました。そして、初めての体験としては10月の校医として4年生の性教育の授業(NEWS10月号)を担当、サーフィンにも挑戦(NEWS11月号)しました。その他、仙台リビングに2回、地元テレビには4~5回登場しています。先日患者さん(3才ぐらい)から、“先生はどうしてテレビにでているの?”と聞かれ、答に困りました(笑)。

いつの間にか、当院も2月20日で15年になります。毎年“漫然と同じことの繰り返しでは、進歩がありません。”と書いています。去年は新しいことが2つありましたが、また何か出来るか性懲りもなく考えているところです。お母さんたちも子どもたちのため、何か一つ新しいことに挑戦してみましょう。新しいことが出来なくても、一つ一つの小さな積み重ねの大切さも大事にしたいことです。子どもたちを取り巻く環境は必ずしも良好ではありません。今年皆さんにとっても自分にとっても、ますますよい年になることを願っています。

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』

あけまして おめでとう ございます

今年は新たな自分の一面を見つけたらいいと思います。今までためらっていた事にチャレンジしていきたいです！
事務 福地 あさか

新しい年の始まりです。今年は大代に乗るので(笑)健康面に十分注意したいと思います。仕事面での目標は、今まで以上に笑顔を忘れない事!!今年もよろしくお願ひいたします。
婦長 中米 由美子

昨年を振り返ってみると、体がゆるみっぱなしの一年でした。今年は院長を見習い、体を鍛えて、身も心も引き締めていこうと思っています。
看護師 佐藤 陽子

今年、細かい事に気配りが出来るように心掛けていきたいと思っています。そしてまた1つ成長していけるよう頑張ります!事務 道端 ちひろ

何事にもめげずに努力あるのみ!今年もよろしくお願ひします。
看護師 北澤 宏枝

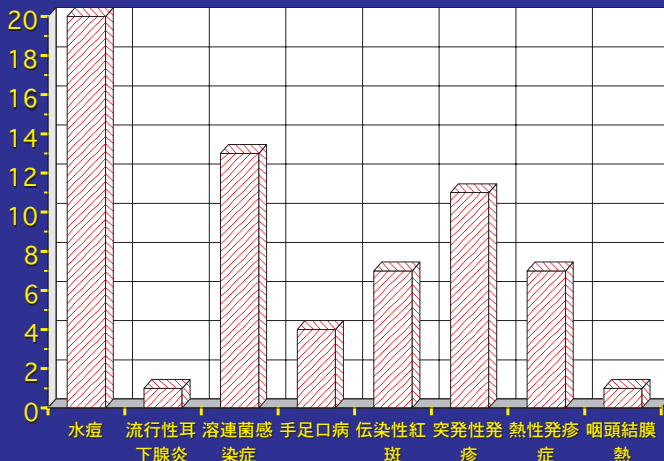
読者の広場

先月は久し振りに31通のメールを頂きました。医療相談や入院後の経過などで、プライバシーに関わるものが多かったので、一部だけ紹介します。まずは鹿島台(当院へは1時間30分かかかる所)の佐藤さんからです。「鹿島台の佐藤 凜の母です。今年も何度が川村先生には助けて頂きました。5月には、足がピクピクと止まらないフットクローヌスという症状で、市立病院の山本先生を紹介して頂き、感謝しております。川村先生に診て頂いた際に、心配のあまりクリニックの待合室で泣いてしまいました。その時、婦長さんや看護師さんには大変勇気づけられ、私が強くならなければ…と、改めて母親としての責任を感じました。まだ足の症状は消えませんが、今後とも様子を見て、川村先生にはまたお世話になるとは思いますが、よろしくお願ひ致します。いつもクリニックを訪れる時は、他の病院ではダメ!川村先生でなければ…と重症な時ばかりお世話になり、申し訳ない気持ちでいっぱいです。しかし、クリニックには不思議な力があるのですね☆訪れると母娘共々元気になるのです。川村先生と皆さんの優しさが幸せにして下さいます。今年も一年お疲れ様でした。来年も必ずお世話になりますので、どうかよろしくお願ひ致します。」。遠いので普段簡単には来れないですよね。困った時はいつでもどうぞ。困った時に頼れる病因があるのだから、「遠くに住んでいても最後の砦があるから幸せ」ぐらいに思ってください。いつも感謝の気持ちのメール、ありがとうございます。続いて遠く富谷町から来る矢萩さんから、「先日はありがとうございました。娘は浣腸(笑)のおかげですっかり良くなりました。11歳になる娘が、周りの小さい子を見て「かわむら先生は何歳まで診てくれるの?」と。娘が大人になってきた嬉しさと、あら!来れなくなるんじゃないかと戸惑いも(笑)まだまだ、お世話になります。これからもよろしくお願ひします。先生、スタッフの皆さん、お体に気を付けて頑張ってください。ありがとうございました。」。よく聞かれる質問なので取り上げてみました。確かに学問的には、小児科は15才までです。また最近の小児科の診療所は子どもっぼい作りが多いので、男の子は来たがらないかも知れません。でも女の子の場合は抵抗がないことが多いので、高校生になっても、時にはお母さんになっても通ってくる子もいます。いつまでなんて気にしないで、通いたいと思っている間は、いつまででも構いませんよ。但し、高血圧、糖尿病などの生活習慣病は診れませんから。念のため(笑)。今年も、患者さん専用メールアドレスをよろしくお願ひします。



水痘と溶連菌感染症は増加傾向です。高熱と目やにの咽頭結膜熱(プール熱)がみられました。夏に多いのですが、これも地球温暖化?。グラフに示していませんが、最も多いのは感染性胃腸炎(嘔吐下痢症)です。流行が早かったインフルエンザはまだまだ流行せず、先月は29名でした。要注意です。

1 2月の感染症の集計



1月のお知らせ

・東北大医学部学生実習

1月17日(金)

御迷惑をお掛けしますが、よろしくお願ひします。

・栄養児相談

毎週水曜日 13:30~ 栄養士担当

年賀状 ありがとうございます

今年もたくさんの年賀状を頂き、ありがとうございます。本来は御返事を差し上げるところですが、この場を借りてお礼を申し上げます。

院長・スタッフ一同

編集後記

去年のクリスマスは北部休日診療所担当。今年のお正月は在宅当番と、働かされています?。今年はいろいろな意味で、少し余裕を持った一年にしたいと思っています。でも無理でしょう。昨年と同じこと書いたような気がします。



K's clinic